

東関東協組だより

絆
きずな
(第50号)

創刊 平成22年4月15日発行

東関東生コン協同組合
〒120-0036
東京都足立区千住仲町19番8号太陽生命千住ビル
電話番号(03)3879-5141
発行責任者 戸島 伸一

～ 協組スケジュール ～

7月20日 執行部会・常任理事会
7月27日 執行部会・常任理事会
臨時総会・理事会
8月 3日 執行部会・常任理事会
8月10日 執行部会・常任理事会
8月24日 執行部会・常任理事会
理事会
8月31日 執行部会・常任理事会
9月 7日 執行部会・常任理事会
9月 8日 営業全体会議
9月14日 執行部会・常任理事会
技術常任部会
9月21日 執行部会・常任理事会
9月28日 執行部会・常任理事会
理事会

第53回通常総会

『企業存続を目指す適正価格の獲得』

理事長 諸角 富美男



去る5月25日、第53回通常総会が当協組会議室に於いて開催されました。
総会は諸角理事長挨拶の後、議長に日立コンクリート株式会社 取締役 町屋博文氏を選出して
議事に入りました。6議案が審議され、可決承認されました。

- ◆ 第1号議案 令和3年度事業報告及び決算承認の件
- ◆ 第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算案承認の件
- ◆ 第3号議案 令和4年度経費の賦課及び徴収方法決定の件
- ◆ 第4号議案 令和4年度借入金最高限度額決定の件
- ◆ 第5号議案 令和4年度役員報酬限度額決定の件
- ◆ 第6号議案 理事・監事役員選挙の件

通常総会後に開催された理事会において、諸角富美男氏が理事長に再任されました。

総会挨拶の中で、諸角理事長より令和4年度に取り組むべき課題事項の表明がありました。
令和4年度は、6月1日の引合受付分から3,000円/㎡の価格改定をお願いしている。今回の改定は、東関東協組の組合員各社が企業として存続するために必要な事項として適正価格の実現を要望したものになっている。

セメントや骨材・混和剤等の諸資材値上がり及び輸送費の高騰・人件費・産廃処理費等のコストアップ要因に出荷ベースで組合員各工場は危機的な状況に見まわれており、既に自助努力の範囲を超えているため、今回の値上げ表明となった。

東関東協組の価格改定金額としては、かつてない大幅な値上げとなっているが、建設業界や登録販売店各位のご支援・ご鞭撻をお願いしながら、確実に成し遂げたい。

また、令和4年度に協組内部で検討を行ない、令和5年度から実現を目指す課題として、次の事項の説明がありました。

- ① 契約形態の見直し(出荷ベース、期間契約・等)
- ② スライド改定
- ③ 残コン有償化
- ④ でんさい実施
- ⑤ 生コン保険導入

《理事交代》

5月25日付

就任理事名	退任理事名	会社名
関根 睦己	関根 大介	埼玉アサノ生コン株式会社
鈴木 孝行	浅見 賢志	アサノコンクリート株式会社

《理事就任挨拶》

関根 睦己 理事

この度、理事として7年ぶりに復帰することになりました埼玉アサノ生コン株式会社の関根睦己です。

今年度の東関東協組の総出荷量は、42万㎡とのこと。この数字を聞いて、私はびっくりしてしまいました。昔と比べますとかなり出荷数量は減ってしまっています。これでは、1工場あたりの出荷はあまり期待できません。だからといって数量を追えば喧嘩になり値段も下がってしまいます。ですから、数量を追うことをやめ、値段を取ってゆくことに全力を尽くすことが大事だと思います。東関東の組合員の皆さんは大変仲が良いとお見受けしましたので、一致団結して必ず出来ると確信しています。

組合の力で、安定した会社経営ができるようになることを期待しています。私も組合のために微力ながら頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



鈴木 孝行 理事

この度、理事に選出いただきましたアサノコンクリート株式会社の鈴木孝行と申します。

東関東協組での活動は初めてですが、皆様とともに同地区のため微力ながら努力したいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

新型コロナウイルスがやや下火になった矢先にロシアのウクライナ侵攻という世界を巻き込んだ緊急事態が発生し我が国にも我が生コン業界にも石炭価格の急上昇によるセメント、燃料費他原材料の高騰という形でひたひたと影響が及んでいます。

このような時期だからこそ、皆様と一致団結し事業継続のため必要な価格転嫁と残コン戻りコン削減に注力していく所存です。

お客様視点を忘れることなく共存共栄していけるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



《 理事・監事紹介リレー 》

夫婦で旅行 



アサノコンクリート株式会社
専務取締役 萩原 信好



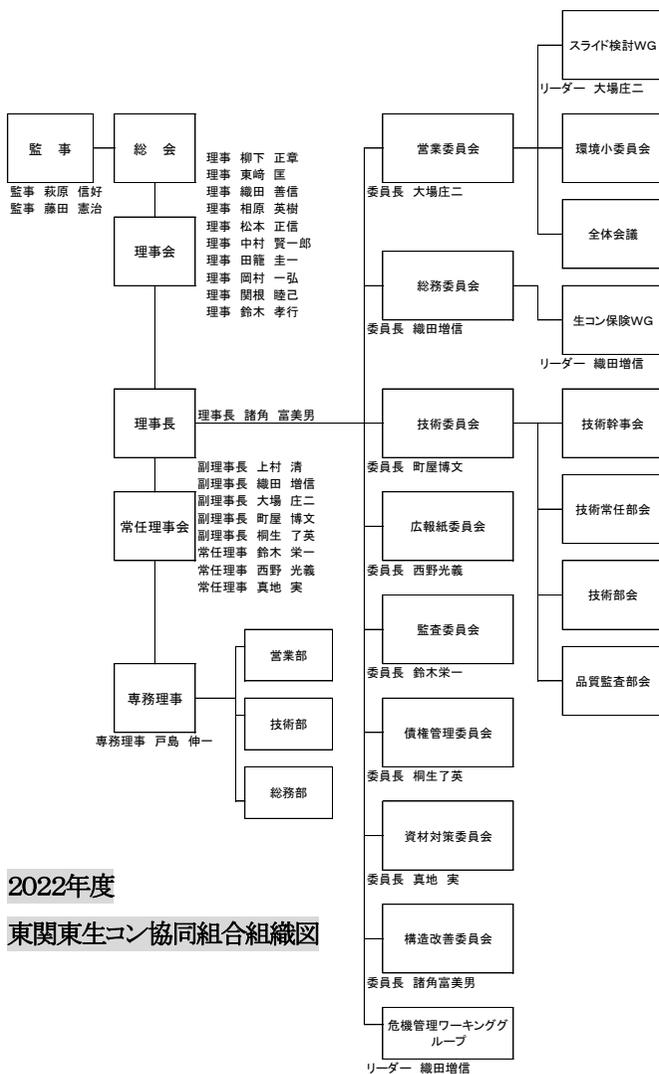
監事に就任して10年が経ちましたが、総会と会計監査の報告がある時の理事会にしか出席しませんし、ゴルフもやらず理事の皆様とはあまり懇親を深める機会もありませんので、私の近況を報告させていただきたいと思っております

世の中は2年以上新型コロナウイルスの流行が続いており、まだ完全に終息していません。我が家でもちょうどウイルスの流行が始まった一昨年4月に、転機を迎えました。下の息子が就職し仙台勤務となり、これまでの子供中心の生活から、気ままな夫婦二人暮らしへと変化したことです。緊急事態宣言下ではありましたが、息子が初めて一人暮らしになるということで、一昨年3月の終わりに引越し準備、4月に赴任と2度ほど車で仙台に行くことになりました。当時は未知のウイルスということで、日本中が恐怖のどん底に落ち込んでいた時期ですので、高速道路もSAも、また仙台の飲食店もガラガラでした。

しかし、これで遠出しても大丈夫という安心感ができたため、妻から息子に会いたいというリクエストがあれば仙台へ、旅行に行きたい時は日本各地へ出かけるようになりました。また、昨年3月には名古屋近郊で一人暮らしをしていた父が施設に入居することになり、空き家となった実家の管理のため1~2か月に1回は愛知にも行くことになり、北(仙台)へ、西(愛知)へ、そして旅行で日本各地へ毎月のように出かけるようになりました。

こうして2年以上コロナ下で移動をしてきました。1回目の緊急事態宣言が発令されていた時期は道路も街も本当にガラガラでしたが、それ以降は徐々に人も増えてきているように感じています。名古屋方面の高速道路は、年末年始・ゴールデンウィーク・お盆の時期に限らず、必ず渋滞に巻き込まれるようになりました。また、旅行で飛行機の予約を入れていても、毎回スケジュール変更・座席の変更のメールが届き、減便・機種変更が行われていたのですが、今年になり4月に出張に出かけた時はまだ行きの便で座席変更のメールが来ましたが、5月の高知では初めて変更のメールが届きませんでした。まだ街中ではマスクをした人がほとんどですが、コロナ禍から徐々に正常化が進んでいるようです。

本来、会社ではコロナの感染防止を推進するのが私の立場ですので、毎月のように都(県)外に出かけているとは大きな声では言えませんが、昨年施設に入居した父を見ていても、元気に旅行できるのは70代前半まで考えると、程なく64歳を迎える私に残された時間は10年余ですので、これからもコロナ対策を怠らず、夫婦で旅行に出かけたいと思っています。



2022年度

東関東生コン協同組合組織図

2022年度実績

単位 (m³・%)

月	2021年度実績	前年実績比	2022年度想定	2022年度実績	前年実績比	想定比
4	44,346.95	117.60	32,000	23,165.70	52.24	72.39
5	32,580.50	129.64	34,000	18,870.90	57.92	55.50
6	30,899.70	114.64	38,000	30,887.25	99.96	81.28
7	35,287.10	107.87	40,000		0.00	0.00
8	30,249.20	109.78	38,000		0.00	0.00
9	41,281.70	128.39	36,000		0.00	0.00
上期合計	214,645.15	117.80	218,000	72,923.85	67.63	70.12
10	30,687.25	111.32	35,000		0.00	0.00
11	26,903.20	118.49	34,000		0.00	0.00
12	23,337.35	78.39	34,000		0.00	0.00
1	18,853.15	50.14	30,000		0.00	0.00
2	24,223.65	77.70	33,000		0.00	0.00
3	25,328.60	62.79	36,000		0.00	0.00
下期合計	149,333.20	78.95	202,000	0.00		
年度計	363,978.35	98.01	420,000	72,923.85		

広報紙委員長より皆様へ



平成22年4月15日、東関東協組広報紙『絆』が発刊して早いもので12年が過ぎ、記念すべき第50号を迎える事ができました。これもひとえに読んで下さる皆様のご支援、ご愛読の賜物と広報紙委員会一同、心から感謝申し上げます。

ここ2年間は、コロナ禍の影響で集まる事に制限があり休刊したり合併号になったりしましたが、これからは年4回の通常発刊に戻していけたら良いと思っています。

私は第30号から広報紙委員長を任せて頂きましたが、自分にとって非常に魅力があり、そしてやりがいのある広報紙委員長であり、自分に合う仕事だと自負しております。

『継続は力なり』の精神でこれからも頑張ります。

例年にない観測史上最速の梅雨明けをし、本格的な夏がやって来ます。熱中症対策を皆様万全にして、水分補給を忘れずこの夏を乗り越えましょう。

広報紙委員会一同、今後も皆様に幸せと、笑顔、そして見やすい広報紙を提供したいと思います。これからも宜しくお願ひ申し上げます。

広報紙委員長
株式会社 西野建材
代表取締役 西野光義

2022年夏期工場休転日

工場名	8/																				
	曜日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21							
アサノコンクリート 浮間工場				X	X	X	X	X	X	X				X							
内山アドバンス 草加工場				X	X	X	X	X	X	X				X							
関東コンクリート				X	X	X	X	X	X	X				X							
城北小野田レミコン				X		X	X	X	X	X				X							
豊川興業				X	X	X	X	X	X					X							
南埼玉コンクリート 越谷工場				X	X	X	X	X	X	X				X							
日立コンクリート 戸田橋工場				X	X	X	X	X	X	X	X	X		X							
日立コンクリート 新砂工場				X	X	X	X	X	X	X				X							
松戸生コン 松戸工場				X	X	X	X	X	X	X				X							
松戸生コン 常盤工場				X	X	X	X	X	X	X				X							
柳下生コン				X	X	X	X	X	X					X							
八洲コンクリート				X		X	X	X	X	X				X							
横山産業 川口第一工場				X	X	X	X	X	X					X							
横山産業 大宮工場				X	X	X	X	X	X					X							
植木生コン				X	X	X	X	X	X					X							
首都圏コンクリート				X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X							
鈴木生コン				X	X	X	X	X	X					X							
西野建材				X	X	X	X	X	X					X							
トウザキ				X			X	X	X	X				X							
埼玉アサノ生コン岩槻工場				X	X	X	X	X	X					X							
東京エスオーシー				X	X	X	X	X	X	X	X			X							
野田生コン 第一工場				X	X	X	X	X	X	X				X							
東関東生コン協同組合				X		X	X	X	X					X							